



PRESS INFORMATION

Motorcycle Federation of Japan



MFJ 東北復興応援 ツーリング 2015

全国のライダーが立ち上がり、
東北をバイクで走り、観て学び、
交流をしながら復興の応援を行う
一大ムーブメント。



東北の被災地遊学！
これからの旅の行き先に、一度は
東北沿岸部を是非とも入れて欲しい。
東北復興応援ツーリング・プロデューサー
風間 深志

主催：一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 東北応援の旅・ツーリング2015実行委員会
公認：国際モーターサイクリズム連盟(FIM)
後援：(予定・申請中)

観光庁、復興庁宮城復興局、宮城県、岩手県、福島県、青森県、石巻市、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本二輪車普及安全協会、
一般社団法人全国二輪車用品連合会、全国オートバイ協同組合連合会、河北新報社、石巻かほく、石巻日日新聞社、NHK 仙台放送局、仙台放送、
TBC 東北放送、ミヤギテレビ、エフエム仙台、ラジオ石巻 FM76.4

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会



2015年8月20日

はじめに

東日本大震災から4年が経過し、日本社会は今、被災地への関心はもとより、復興へ向ける応援の意識さえも半ば薄れつつある現状にあります。

こうした中で、東北という地域ならではの「人」や「自然」、あるいは「まち」や「産業」といったものの魅力について、ここでもう一度再認識・再発見する意味も併せて、このほど全国のバイクユーザーの方々の協力を得ながら、東北沿岸部の復興をサポートすることを目的にした「走ろう！東北 MFJ 東北復興応援ツーリング 2015」を開催する運びとなりました。

全国からやってくる数多くのバイクユーザー達が、自身の目で地域を見て、走り、触れあい、綿密なサポートを行い、地域に埋もれていた魅力ある「潜在資源」も発掘しながら、被災地の以前にも増した「新たな復興」の一助になればと考えております。

本企画の主催となる「一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会」（以下 MFJ）では、1961年の設立以来推し進めてまいりました日本の健全なモーターサイクルスポーツの普及・発展の活動に加え、MFJ が目標とするモーターサイクルスポーツの発展を通じて行う「社会への貢献」への活動を、当事業の施行を契機に、新たな気持ちを含めて推し進めて参りたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

開催概要

- イベント名称 **走ろう東北！ MFJ 東北復興応援ツーリング 2015**
- 主催 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会
東北応援の旅・ツーリング 2015 実行委員会
- 公認 国際モーターサイクリズム連盟（FIM） <FIM 公認番号 IMN no. 692/01>
- 旅・ツーリング期間 2015年10月17日（土）～11月30日（月）
- ツーリング対象地域 東日本大震災で被災した青森県・岩手県・宮城県・福島県の沿岸部
- キックオフセレモニー
 - 開催日 2015年10月17日（土）
 - 会場 石巻市サン・ファンパーク
〒986-2135 宮城県石巻市渡波字大森 30-2 Tel：0225-24-2210
HP：<http://www.santjuan.or.jp/>
 - スケジュール 受付 8：00～10：00
（予定）開会式 10：30～11：00
オリエンテーション 11：30～12：00
昼休憩 12：00～13：00 （地元飲食等出店予定）
出発 13：30～
- 運営協力団体 特定非営利活動法人地球元気村/株式会社風間深志事務所
特定非営利活動法人 Switch
一般社団法人 こはく
- 後援（予定・申請中含む） 観光庁、復興庁宮城復興局、宮城県、岩手県、福島県、青森県、石巻市、
一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本二輪車普及安全協会
一般社団法人全国二輪車用品連合会、全国オートバイ協同組合連合会
河北新報社、石巻かほく、石巻日日新聞社、NHK 仙台放送局、仙台放送、
TBC 東北放送、ミヤギテレビ、エフエム仙台、ラジオ石巻 FM76.4

（8月18日現在）

イベント内容

本年10月から実施するツーリングイベントは、2016年4月より本格的にスタートするための助走段階＝「プロローグ」として開始いたします。

■ ツーリング内容

1. 概要

この東北復興応援ツーリングでは、本企画に賛同を頂いたバイクユーザー（ツーリングライダー）の方々に、「MFJ BIG HEART CLUB」に事前登録をいただき、本年10月17日～11月30日までの期間に、東北エリア一円、特に青森県・岩手県・宮城県・福島県の沿岸部を中心に、自由にツーリングしていただけます。その中で様々な復興応援活動を行っていただき、体験した事、感じた事などをレポートしていただけます。

2. ルート・ポイント

ルートは自由ですが、参加者が楽しくツーリングできるように本ツーリングの対象エリア（右図）となる東北4県をめぐるポイントを設定します。

① 「道の駅ポイント」（難易度 ★★★★★）

対象エリア内の「道の駅」にて休憩、物品購入、情報収集を行い、その証として同施設にある道の駅スタンプを集めます。

※どの道の駅を選ぶかは自由です。

② 「みちのくポイント」（難易度 ★★★★★）

地元スタッフがリストアップしたおすすめスポット（※後日発表）を探し出して訪問し、その証として設置してある本ツーリング専用スタンプを集めます。

③ 「BIG HEART ポイント」（難易度 ★★★★★）

参加者が主体的に考えた復興応援活動を任意の訪問先で行い、その証として訪問先から署名や捺印をもらって集めます。（例：ガソリンスタンドで給油する、理容店で髪を切る、ボランティア活動をする など）

上記①②のポイントと違い訪問先の指定、制限はないため、本企画に対する認知や理解がない箇所も含まれます。そのため、署名や捺印がもらえない場合や断られる場合も想定されますが、参加者には是非とも弱気にならず、“東北復興を応援するんだ”という気持ちをもって、積極的にコミュニケーションをとっていただきたいと考え、この「BIG HEART ポイント」を設定しました。



3. 成果レポート

ツーリング終了後、上記③「BIG HEART ポイント」における復興応援活動の成果レポートとして、足跡（訪問先記録）と活動レポートを「東北復興応援ツーリング活動手帳」に記入し、実行委員会に提出していただけます。

4. 現地情報のシェア

参加者が現地で入手したオススメルートや面白スポットなどの旬な情報や写真、体験談等を、多くの仲間いち早く伝えるために、SNS（Facebook）を利用して情報をシェアしていきます。

5. RIDE GREEN

本ツーリングの参加者は、FIM 環境コードに定められた規範に基づき行動していただきます。

※「RIDE GREEN」の詳細は、別紙「RIDE GREENとは？」をご参照ください。



■ 表彰

参加者は、「東北復興応援ツーリング活動手帳」に復興応援活動（③「BIG HEART ポイント」）の足跡、成果・レポートを記入し、実行委員会に送付します。実行委員会ではプロデューサーの風間深志を中心に総合的に審査を行い、その中から最優秀東北応援ライダーを決定して、2015年12月19日（土）に東京・日経ホールで開催するMFJランキング表彰式で表彰させていただきます。（表彰対象人数5名）

■ 参加定員

限定500名（定員になり次第締め切りさせていただきます）

※参加車両の車種、排気量は問いません。正規に登録された自動二輪およびサイドカー、トライク、または原動機付き自転車が参加可能です。（四輪車は不可）

■ 参加者の登録料

登録料：2,000円（税込）／1名（ライダー・タンDEMそれぞれ登録料がかかります）

■ 参加特典

- (1) ツーリング活動手帳
 - (2) BIG HEART CLUB カード
 - (3) 車両貼付用ステッカー
- 上記3点を進呈します。



■ 参加申し込み受付方法

MFJ オフィシャルホームページ内に専用ページを設け、WEB上で参加申し込みを受け付けます。

東北復興応援ツーリング2015WEBサイト（8月20日OPEN!） <http://www.mfj.or.jp/touring/>

※参加申込みはWEBからのみとさせていただきます。

■ 参加申込み受付期間

2015年8月21日（金）～11月20日（金）

本件に関するお問い合わせ先

◎エントリー・運営に関するお問い合わせ、ツーリング活動手帳送付先

東北応援の旅・ツーリング2015実行委員会（NPO法人地球元気村 内）
〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-9-18 北村ビル2階
電話 03-6721-9686 Fax 03-6721-9687（平日10時～17時まで祝日除く）
Eメール info@chikyu-genkimura.com

◎プレスリリースおよび取材に関するお問い合わせ

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会
〒104-0045 東京都中央区築地3丁目11番6号 築地スクエアビル10階
電話 03-5565-0900 Fax 03-5565-0908

プレス、およびメディア各社の皆様におかれましては、本ツーリング開催趣旨をご理解いただくとともに、ぜひ現地を取材いただき、誌面にてご紹介いただけますようご協力をお願いいたします。

キックオフセレモニー当日の取材について（事前取材申し込み不要）
10月17日（土）のキックオフセレモニーの取材にお越しになるプレス、メディア関係の皆様は、当日、現地会場（石巻市サン・ファンパーク）本部にて受付いたしますので、直接ご来場ください。

RIDE GREENとは？

国際モーターサイクリズム連盟（FIM）は、1994年に環境委員会を設立し環境コード（規則）を設け、国連環境プログラム（UNEP）とパートナーシップを結んでいます。これはモーターサイクルスポーツ活動において、常に環境に配慮し行動することを啓発し、推進することを目的にしています。



FIM 世界選手権競技会にはセミナーを受講し資格を得た「環境スチュワード」が各大会の環境保全についてチェックしています。また、ツーリングやオフロード走行などレースではない活動においてもライダーに環境への配慮を求めています。この活動の合言葉が「**RIDE GREEN**」です。

MotoGP 世界チャンピオンのマルク・マルケス選手やトライアルの藤波貴久選手らが、FIM 環境アンバサダーとしてこの活動に関わっています。

MFJ 東北復興応援ツーリングにおいても、参加者の皆様には FIM 環境コードに定められた規範（下記）を遵守し行動していただきます。

■ 2015 年版 FIM 環境コード <参加者向け部分抜粋>

11. 公道ユーザーへの薦め

11. 1 序論

“我々は、個々の移動に関する我々の自然な欲求に関して、適切かつさらなる責任を自発的に持たなくてはならない。我々は、発想の自由及び動向に基づき、モーターサイクリングの楽しみを、エコロジーや経済的なニーズと兼ね合わせて可能な限り追求していく”。

11. 2 ライダーの行為

- a) 不必要なエンジン・アイドリングを防ぐことによってガソリンを無駄にしないことと同時に公害を減少させる。
- b) 緊急時にのみホーンを使用することによって騒音公害を減少させる。
- c) 騒音は迷惑なものである。スタンダード、または他の静かなエキゾースト・システムを使用し、オーディオ・システムの音量を低く保つ。
- d) モーターサイクリストが通行を許可されているルートのみを通行する。
- e) 自然を傷め、自然の回復が期待できないような走行路を走行しないようにして、自然を尊重する。
- f) 聡明な走行をして、自然の生物や動物を保護する。
- g) 自分の使用したオイル、タイヤ、バッテリーなどのリサイクル可能なアイテムが、正当にリサイクルまたは収集されるように責任を持つ。
- h) 自動車の代わりにモーターサイクルに乗ることによって、合理的燃料の使用やスペース効率を促進する。

※FIM 環境コード（和訳）の全文は、MFJ ホームページの「FIM 規則（和訳）」よりご覧いただけます。

http://www.mfj.or.jp/user/contents/motor_sports_info/rule-world/rule-world.html